

さくら市議会だより



2007. 9. 1
〈平成19年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508

6月定例会



〔第14期 佐倉市議会議員〕

上段： 白井尚夫 木原義春 森野 正 藤崎良次 中村克几 中村孝治 押尾豊幸 入江晶子 工藤啓子
 中段： 桐生政広 冨塚忠雄 中原英雄 神田徳光 兒玉正直 山口文明 岡村芳樹 小林右治 櫻井道明 川名部実
 下段： 檀谷正彦 望月清義 勝田治子 平野裕子 伊藤壽子 五十嵐智美 萩原陽子 柏木恵子 小須田稔 上ノ山博夫 村田穰史

市民の代表として、市民からの要望や意見を市政に反映させる市議会議員

一般会計補正予算など
15議案を可決

6月定例会は、6月13日から7月3日までの21日間にわたり開かれました。今定例会では、「平成19年度佐倉市一般会計補正予算」など議案15件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。

請願・陳情については「最低保障年金制度の実現を国へ要請する意見書採択を求める請願」など8件、議員発議については「肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書」など4件を提出し審議しました。

一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に12人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

5月臨時会

議長に 望月清義議員
副議長に 櫻井道明議員を選出

5月臨時会の議案と議決結果 (議決 5月16日)

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数、△賛成少数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号		議長選挙の結果	副議長選挙の結果
①	専決処分の承認を求めることについて 地方税法の一部改正等に伴い佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定であり平成19年4月1日から施行したもの。主な内容は、上場株式等の配当・譲渡益に係る軽減税率の適用期限の延長など。	承認 ○	○望月清義 19票 富塚忠雄 10票
②	専決処分の承認を求めることについて 地方税法の一部改正等に伴い佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例制定であり平成19年4月1日から施行したもの。内容は条例中に地方税法の規定を引用し、特定の事業者の施設等に対して課税標準の軽減特例を設けているものについて、同法の規定の改廃により項ずれが生じたことからその整理を行ったもの。	承認 ◎	○櫻井道明 19票 藤崎良次 10票
③	専決処分の承認を求めることについて 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定であり平成19年4月1日から施行したもの。内容は休日夜間急病等診療所に従事する医師等の報酬額を平成19年度から引き下げたもの。	承認 ○	
④	平成19年度佐倉市交通災害共済事業特別会計補正予算 会計年度経過後に平成18年度の収支に不足が生ずる見込みとなったことから19年度の歳入を18年度の歳入に繰上充用するため、その経費20万3千円を増額補正するもの。	原案可決 ○	
⑤	副市長の選任について 熊谷副市長が5月31日付けをもって退職することに伴いその後任として鎌田富雄(かまだとみお)氏を副市長に選任いたしたく議会の同意を求めるもの。	同意 ◎	
⑥	固定資産評価員の選任について 固定資産評価員である熊谷副市長が5月31日付けをもって退職することに伴いその後任として鎌田富雄(かまだとみお)氏を選任するもの。	同意 ◎	
⑦	監査委員の選任について 議員のうちから選任する監査委員に中村孝治議員を選任するもの。	同意 ◎	
議員発議 ※丸数字は発議案番号			
①	教育三法「改正」案の廃案を求める意見書	否決 △	

5月臨時会が5月16日に開かれ「専決処分の承認を求めることについて」など議案7件が提出され、すべて原案のとおり承認・可決・同意しました。

また、議員発議については「教育三法「改正」案の廃案を求める意見書」を提出し審議しました。

さらに、正・副議長の選挙が行われ、議長に望月清義議員、副議長に櫻井道明議員を選出、その他各組合議会議員の選挙、各常任委員、議会運営委員の選任を行いました。

(議会の構成については4ページに掲載)。

表彰

議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、次の議員が表彰されました。

議員在職20年

勝田 治子 議員
倉田 彰夫(前) 議員

◆全国市議会議長会より特別表彰

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。

6月定例会では、20日から22日及び25日の4日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)をご覧ください。

代表質問

政治姿勢について

●政治姿勢について
問 今回の一般会計補正予算は約28億2千万円だが、市長がマニフェストとして約束された項目についての様な事が盛り込まれたのか伺う。

答 安心できる高齢化、少子化時代の福祉の充実として保育園や学童保育所の充実。暮らしやすい生活環境の整備として防災・防犯・自然環境の保全、岩名運動公園の整備。次世代を担う青少年の育成として校舎の安全対策、改築等。小・中学校図書

の充実。産業経済の活性化として長割遺跡の保全等々である。
問 寺崎特定土地画整理事業の中の行政文化施設用地について今後の取り扱いを伺う。

答 今の財政状況を考えれば、明確な行政目的が無いのに取得する必要はないと考えている。

●福祉問題について
問 特殊出生率が非常に低下している。安心して子どもを産み育てられる社会にしたい。子育て支援の充実を伺う。

答 子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。

問 子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。

答 子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。

問 子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。

答 子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。子育て支援の充実を伺う。

地域福祉活動の充実について

●地域福祉活動の充実について
問 ①独居老人や生活保護世帯の著しい増加に伴い民生児童委員への負担・負荷が増大し極めて厳しい状況。自身も家族に介護的な負担となる場合もある。負担・負荷軽減策を講じられないか。②各地域に於いて自主防災組織を中心とした防災訓練が活発に行われていない。地域で要援護者をどこまで詳細に把握できているかにより救出活動に差がつく事は明白。(1)地域で要援護者の詳細な把握をどのようにするのか。(2)地域福祉活動拠点をどのように充実するのか。

答 ①市の民生委員・児童委員の定数は180人だが本年一斉改選にあたり七人増員する。②(1)現在策定中の佐倉市地域福祉計画へ対応について盛り込む。個人情報等を十分配慮し把握するよう努める。(2)小中学校の余剰教室を常時使用できるような運営方法について関係者と話し合う。

●子育て支援策・教育問題について
問 ①女性が生涯に産み育てる子どもの数を表す合計特殊出生率は平成18年度は全国平均1.32と多少上がったが当市は平成17年度で0.7であり深刻な状況で乳幼児医療費助成制度の拡充は喫緊の課題。(1)助成対象年齢を引き上げられないか。(2)予防接種や(3)妊婦定期検査について更なる拡充を図れないか。②学童保育所の整備を順次進めているが未整備の学区が複数ある。(1)今後の学童保育所の開設予定と併せて(2)対象年齢の

引き上げについて伺う。③昨年度国から放課後子どもプランの概要が示された。学校の余剰教室等を活用しながら校庭での遊びや教室での勉強、体験活動などを行う放課後子ども教室の両事業を連携しながら実施し、すべての小学校区で児童の安全で健全な放課後づくりを行うものと聞く。現在の進捗状況を伺う。

答 ①(1)来年度から小学校就学前までの医療費助成の拡充を図る。(2)予防接種の小児への助成は国の動向を見据えながら対応していく。(3)無料健診回数も二回から五回に増やす方向で検討。②(1)今年度南志津小学校内に整備する。(2)既存の学童保育所も小六年生まで拡大し、新たな部屋の確保の協議を進めている。③実施案がまとまった段階でモデル校を定め、地域の方の協力を得て実証データを収集し学童保育との整合を図りながら市の方向性を見定めていく。

●寺崎特定土地画整理事業について
問 公共下水道工事を都市機構へ随意契約で委託、費用を全額市が持つのは他の開発との公平性を欠く。事業の進捗も遅れており、スケジューリング見直しの協議を求める。行政文化用地は取得すべきではないと考えるがいかがか。

答 市の中心的都市形成を図る重要施策なので公共下水道は市が行う。随意契約は監査委員より「違法性はない」との判断が出ている。区域全体が田であり、地盤の安定に時間を要し三年程度遅れている。今後スケジューリングの見直しは協議する。債務負担行為は限度額31億3,000万円を期間延長のみ行う。行政文化用地は明確な行政目的が決められていないので、購入しないことが最良の選択と考え

●市長の政治姿勢
問 ①佐倉市発注工事の入札落札率は一昨年度73%、昨年度86%と13ポイントも上昇した。入札参加業者数が減ると落札率は上昇傾向にある。平均数は？②佐倉市の財政上の大きな問題点はどこにあると考えるか？

答 ①H17年度9社、H18年度6社であるが、平均参加業者数の公表は考えていない。②経常収支比率が96%と高いこと、未収債権が多いことである。

●市長の市議会への取組姿勢
問 ①議会への提案目次が議員に送られている。市長提案の議案概要を知るには良い資料であり公表すべきだが？②市議会は「情報

開示請求時に所持していた情報を開示決定前に消去し、不存在として不開示決定をした。情報公開審査委員は3月に「市の情報公開制度の根幹を揺るがすものであり容認できない」と述べているが？

答 ①議員とは別にわかりやすくする必要もあり、公表は研究する。②市長としては感想を述べる立場にない。

●統一地方選挙について
問 ①ノボリ旗の利用状況は？②選挙後の当選御礼の印刷文書郵送は適法と考えるか？

答 ①ノボリ旗の利用は認められていない。予め周知したが徹底されず、全候補者の事務所に電話した結果なくなった。②公選法178条で禁止されており、市長は出していない。

憲法擁護の立場について

●憲法擁護の立場について
問 平和条約の理念と相反する憲法改定の動きが強まっている。憲法を尊重すべき立場にある安倍首相は、侵略の事実を曲げて「アジア開放の正しい戦争だった」と発言している。市長の見解と今後の平和行政を伺いたい。

答 国民一人一人が憲法の役割を理解することが大切であり、現代社会における日本のあり方を真摯に考える姿勢を持つことが必要だと考える。今後も平和事業を広く知らせる中で、憲法理念の普及に努めていく。

●子育て支援策について
問 子育て世帯の経済的支援として子どもの医療費を小学校卒業まで無料にできないか。

答 財政負担を伴うことになるので、当面は就学前まで引き上げたいと考えている。

●保育園の増設と正規保育士の増員が必要ではないか。
問 白銀地区に民設民営による保育園の設置を進めている。今後、王子台と中志津の市有地に民間業者を募集する予定。現在、正規保育士と臨時保育士の割合は4対6であるが運営上の支障はないと判断している。

問 学童保育を全ての小学校区に設置し、インストラクターの配置にゆとりが必要ではないか。

答 全校設置を基本的な考えとして、保育需要の高い学区から整備する。インストラクターは適切に配置し、研修活動を積極的に進め、質の向上に努める。

●地域公共交通の充実について
問 「地域公共交通会議」の設置、循環バスの早期運行並びに京成志津駅北口と井野千手院を結ぶ路線バスの復活等について、どの様に考えているのか。

答 地域公共交通会議については、他市の事例等を参考に設置準備を進めている。循環バスについては、他の地域での運行を検討しているが、既存のバス会社の路線と重複し、影響を及ぼすことが懸念されるので、既存のバス会社に市内の路線拡大と和田、弥富地区の再編をお願いしている。井野地区については、交通が充分でない地域の一つと考えている。今後、地域公共交通会議の中で協議していく予定である。

●志津霊園道路問題について
問 ①これまでの総額経費②本昌寺との交渉の現状③市民の総意の取り方の具体的方法を伺う。さらに④市民説明会の開催を求めたいか。

答 ①五月末で32億1,200万円。②交渉六項目の課題解決方法で合意がとれず現在交渉の場を設けられない状況。交渉の節目節目で市議会へ報告していく。③議員への説明、関連議案等により意思確認、市民意識調査の項目にのびる。④複雑に問題が混在している為、直接の権利者以外への説明は困難。

●新社会党
富塚忠雄
倉及び西志津サービスセンターで実施している。午後5時15分以降の対応については、土曜、日曜の対応については、佐倉及び西志津サービスセンターで実施している。午後5時15分以降の対応については、土曜、日曜の対応については、佐倉及び西志津サービスセンターで実施している。

●市民ネットワーク
工藤啓子
行政文化用地は明確な行政目的が決められていないので、購入しないことが最良の選択と考え

●用語解説
【乳幼児医療費助成制度】
小学校就学前の子供が県内の保険医療機関で診療を受ける時(5歳未満の乳幼児が通院・入院した時、又は5歳以上就学前の幼児が入院した時)窓口で健康保険証と乳幼児医療費助成受給券を提示すると保護者負担額200円(又は無料)を除いては原則として医療費を支払うことなく受診できる制度。

●日本共産党
萩原陽子
トラクターは適切に配置し、研修活動を積極的に進め、質の向上に努める。

●さくら会
桐生政広
育てられる社会にしたい。子育て支援の充実を伺う。

●公明党
岡村芳樹
(1)今後の学童保育所の開設予定と併せて(2)対象年齢の

●市民ネットワーク
工藤啓子
行政文化用地は明確な行政目的が決められていないので、購入しないことが最良の選択と考え

●新社会党
富塚忠雄
倉及び西志津サービスセンターで実施している。午後5時15分以降の対応については、土曜、日曜の対応については、佐倉及び西志津サービスセンターで実施している。

●寺崎特定土地画整理事業について
問 公共下水道工事を都市機構へ随意契約で委託、費用を全額市が持つのは他の開発との公平性を欠く。事業の進捗も遅れており、スケジューリング見直しの協議を求める。行政文化用地は取得すべきではないと考えるがいかがか。

答 市の中心的都市形成を図る重要施策なので公共下水道は市が行う。随意契約は監査委員より「違法性はない」との判断が出ている。区域全体が田であり、地盤の安定に時間を要し三年程度遅れている。今後スケジューリングの見直しは協議する。債務負担行為は限度額31億3,000万円を期間延長のみ行う。行政文化用地は明確な行政目的が決められていないので、購入しないことが最良の選択と考え

●地域福祉活動の充実について
問 ①独居老人や生活保護世帯の著しい増加に伴い民生児童委員への負担・負荷が増大し極めて厳しい状況。自身も家族に介護的な負担となる場合もある。負担・負荷軽減策を講じられないか。②各地域に於いて自主防災組織を中心とした防災訓練が活発に行われていない。地域で要援護者をどこまで詳細に把握できているかにより救出活動に差がつく事は明白。(1)地域で要援護者の詳細な把握をどのようにするのか。(2)地域福祉活動拠点をどのように充実するのか。

答 ①市の民生委員・児童委員の定数は180人だが本年一斉改選にあたり七人増員する。②(1)現在策定中の佐倉市地域福祉計画へ対応について盛り込む。個人情報等を十分配慮し把握するよう努める。(2)小中学校の余剰教室を常時使用できるような運営方法について関係者と話し合う。

●子育て支援策・教育問題について
問 ①女性が生涯に産み育てる子どもの数を表す合計特殊出生率は平成18年度は全国平均1.32と多少上がったが当市は平成17年度で0.7であり深刻な状況で乳幼児医療費助成制度の拡充は喫緊の課題。(1)助成対象年齢を引き上げられないか。(2)予防接種や(3)妊婦定期検査について更なる拡充を図れないか。②学童保育所の整備を順次進めているが未整備の学区が複数ある。(1)今後の学童保育所の開設予定と併せて(2)対象年齢の

引き上げについて伺う。③昨年度国から放課後子どもプランの概要が示された。学校の余剰教室等を活用しながら校庭での遊びや教室での勉強、体験活動などを行う放課後子ども教室の両事業を連携しながら実施し、すべての小学校区で児童の安全で健全な放課後づくりを行うものと聞く。現在の進捗状況を伺う。

答 ①(1)来年度から小学校就学前までの医療費助成の拡充を図る。(2)予防接種の小児への助成は国の動向を見据えながら対応していく。(3)無料健診回数も二回から五回に増やす方向で検討。②(1)今年度南志津小学校内に整備する。(2)既存の学童保育所も小六年生まで拡大し、新たな部屋の確保の協議を進めている。③実施案がまとまった段階でモデル校を定め、地域の方の協力を得て実証データを収集し学童保育との整合を図りながら市の方向性を見定めていく。

個人質問

市民協働について

さくら会 山口文明

行政主導型から市民協働型を目指した、市民協働の推進に関する条例が制定され半年経った。市民協働について何らかの姿が見えてきているか。問題点があればどのようなものか。

まちづくり協議会は、白井ふるさとづくり協議会を本年六月八日に認証した。学区と自治会等との線引きが一致せず調整が難しい地域もあるが、来年度から取組みを予定している地域もある。市民提案型は対象となる事業を採択し、支援を実施するため所定の手続きを進めている。市民協働については、今後機会を捉えて啓発に努めていく。

花火大会復活に向けて!!

村田穰史

新聞報道であった様に、今年10月に花火大会を開催するとの事、財政難を中止の大きな理由に掲げた市が、再び同じレベル

での予算を提出しているが①時期②方法③交通渋滞④警備について問う。

①10月下旬の他の行事を勘案し今後日程を決定したい。②核となる実行委員会は、花火に実績のある団体等の必要最小限にとどめ、日本花火のみの打ち上げとしたい。③全体的な車の流れを十分勘案し渋滞緩和に努める。④万全の体制で臨むため、警察、ガードマンなど総勢700人余りが必要と考える。

井野東区画整理事業完了後予想される交通量増加に伴う通学路等の安全対策について

市民ネットワーク 伊藤壽子

①モノレール軌道既設跨線橋の車輛通行止め要望書が隣接自治会より署名と共に出ています。事をどう受け止めているのか? ②新設跨線橋が小・中学校通学路歩道を横切するため信号機等で安全を確保する必要があると思われるが?

①自治会と十分な話し合いをする中で、前向きに安全対策に努める。②千葉県公安委員会と交差点協議を行い、同意を得ており問題はないものと考えているが、早期に信号機が設置されるようお願いして行く。

市街化調整区域における開発規制の緩和による問題点と今後のあり方について

市民ネットワーク 入江晶子

①法的基準をクリアしていれば開発許可がおろされていくが、市が法令を上回る厳しい基準を条例に盛りこみ、事業者に対するペナルティーも含めた指導強化を図る制度づくりを提案する。②03年の条例改正で開発規制が緩和され調整区域の緑地が見直しを再度求めるが、どうか。

①開発許可の技術基準の条例化は、関係法令との整合性を図るべく検討を始めた。②一定の許可基準により住環境を確保しており見直しは考えていない。

子育てを支援する政策の充実について

新社会党 勝田治子

①保育園の待機児童が多い。利用希望に間に合うのか。建設計画を問う。②子育て世代の経済的負担軽減の要求が高い。乳幼児医療費無料化を小学六年生まで拡大する事を求める。

①待機児童解消と保育サービスの充実を図るため、保育園事業者の公募をし、白銀地区に応募があった事業者と設置運営等の調整を図り、平成20年4月開園予定。今後、王子台地区と中志津の旧志津保育園用地を活用し保育園事業者を公募する。

西志津小学校の過大規模化の現状について

市民ネットワーク 五十嵐智美

西志津小開校時の児童数は612人。平成11年度から1000人を超える過大規模校となった。開発地域内小学校用地に分離校を求めるとは分難を建設せず、児童の増加に増築とプレハブ校舎で対応した。今、児童数110人、今後4年間も現状のまままで推移する。

①保護者や地域の方への説明を行うのか。②体育館やその他の教育環境の整備をどうするか。③すでに説明をしているが、今後も学校日より、ミニ集会等で周知する。④現在、実施計画にはないが、今後検討していく。

貴重な自然を次世代に引き継ぐ取り組みは?

佐倉市民オンブズマン 上ノ山博夫

市長のマニフェストにある「自然環境の保全」あるいは「次の世代に確実に引き継ぐ」という言葉に基づき、自然環境を守る取り組みは? H18年度より谷津環境の回復と生物多様性保全の為に、畔田谷津下流域の保全整備を実施している。住宅地に隣接する開発に伴う緑の保全に関しては、生活環境の保全、開発行為や土地利用計画、または景観や防災等の問題も併せて検討していく。

市としては都市の健全な発展と秩序ある整備を図りながら緑の保全を進めていきたい。

水防対策への取り組みについて

公明党 小須田稔

平成8年に台風による豪雨で自宅横を流れる高崎川が氾濫、床下浸水を経験。平成13年にも下流域で氾濫を繰り返した。水防対策はどうなっているか。事業主体の県に確認したところ、鹿島川については平成25年度までに竜神橋から高崎川合流地点までの川幅を80mから160mに拡幅。高崎川については平成20年度までに鹿島川合流地点から寺崎都市下水路までの川幅を27mから55mに拡幅、また寺崎都市下水路からJR総武本線までは平成25年度完了を目標に現在の河川用地の中で断面を三割程度拡大させるとのこと。

地域医療の充実について

公明党 森野正

南部地域では医療機関が不足しており、和地区には診療所がひとつあるが、弥富地区には一軒もない状況である。人口過疎地域への医療機関の設置と

通院のためのバス路線の拡充へ市の取り組みをうかがう。

南部地域では医療機関が少ないことで移動を含め、受診に制約が生じないようにすることが望ましい。診療所等の設置は弥富公民館の建て替え計画にあわせて検討していくが、地元医師会との協議・調整も必要である。バス交通の整備は子供から高齢者までそれぞれの必要に応じて、調整していききたい。

文化財保護について

公明党 神田徳光

佐倉市は文化遺産だけでなく、自然もまた豊かである。「市民文化遺産の保全及び活用に関する条例」を施行していることは行政の施策として評価している。旧堀田家住宅等の文化財の現状と今後の整備、また自然環境の保護対策について問う。

文化財は消失、毀損、破壊されれば二度と取り戻せない。自然資産も同様である。地域の風土と歴史は密接に結びついていく。文化財の継続的、計画的な整備を図ると共に文化遺産である自然資産の保護に努める。自然や文化財を後世に伝えるため、保存、活用を積極的に行う。

住民税増税の認識を問う

日本共産党 児玉正直

住民税を担税力のない人にまで増税したことで、市民税課に問い合わせが集中した。市長が福祉の充実と暮らし応援を打ち出しても、既に公共福祉を後退させているこの矛盾を、どのように認識しているのか。

あらゆる機会を通じての広報活動の結果、納税通知書発送後の市民からの問い合わせは予測より少なく、大きなトラブルもなかったと判断している。大切な税は、社会保障の充実や少子高齢化への対応のために有効に使われていたのだと考えるべきであり、公共の福祉を後退させていることではない。

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間2時間、()内は会派名

桐生 政広 (さくら会) ※

- 1 政治姿勢について 2 福祉関係について
3 経済・環境対策について 4 安心・安全の街づくりについて
5 生涯学習について

岡村 芳樹 (公明党) ※

- 1 市長のマニフェストに基づく政治姿勢について
2 地域福祉活動の充実について 3 子育て支援策・教育問題について
4 商工観光振興について 5 環境保全と農地の有効活用について

工藤 啓子 (市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢について
2 志津霊園問題に関わるこれまでの課題の整理と今後の方向性について
3 寺崎特定土地区画整理事業の見通しと都市再生機構との協議について
4 行政対象暴力や自治体不祥事を防止する取り組みについて

藤崎 良次 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 ゴミ処理有料化、入札、佐倉市職員の給与等への市長の政治姿勢
2 市長の市議会への取組姿勢他 3 統一地方選挙について

富塚 忠雄 (新社会党)

- 1 平和問題について 2 市長の政治姿勢について
3 教育の充実ならびに教育再生会議報告について
4 地域公共交通の充実について

萩原 陽子 (日本共産党)

- 1 市長の政治姿勢について
2 子どもを宝とする子育て支援策について
3 次世代を担う青少年の教育について

個人質問

中原 英雄

- 1 市長の政治姿勢 2 公的オンブズマン制度について
3 ドメスティック・バイオレンス 4 市民の身分証明制度
5 花火大会

山口 文明 (さくら会)

- 1 市長の政治姿勢について 2 医療について
3 交通安全について

村田 穰史

- 1 花火大会開催について 2 市道I-32号線について

伊藤 壽子 (市民ネットワーク)

- 1 井野東土地区画整理事業第四工区における跨線橋を含む安全対策について
2 上座地先の(ユウカリが丘1丁目隣接地)に伴う諸問題について
3 一般廃棄物の減量対策と有料化問題について
4 統一地方選挙を終えて

入江 晶子 (市民ネットワーク)

- 1 市街化調整区域における開発規制の緩和による問題点と今後のあり方について
2 保育行政の現状と今後のあり方について
3 教育3法改定に対する見解と地方教育行政のあり方について

勝田 治子 (新社会党)

- 1 市立図書館計画と学校図書館の読書環境づくりについて
2 子育てを支援する政策の充実について
3 介護保険の改善点について

五十嵐智美 (市民ネットワーク)

- 1 高齢者の介護・医療問題について
2 西志津小学校の過大規模化の現状について
3 印旛沼サイクリングロードで行われた自衛隊の歩行訓練について

上ノ山博夫 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 市長の政治姿勢について 2 環境問題について
3 市政等の広報について 4 通学問題について

小須田 稔 (公明党)

- 1 教育について 2 水防対策について
3 契約行為について

森野 正 (公明党)

- 1 行政改革について 2 障害者自立支援について
3 地域医療の充実について 4 道路建設について

神田 徳光 (公明党)

- 1 心の病の増加対策について 2 粗大ゴミの対策について
3 教育問題について

児玉 正直 (日本共産党)

- 1 福祉の佐倉市づくりと行財政改革 2 志津霊園問題解決の道筋
3 家庭ごみの有料化

◎上記の通告内容は、佐倉市議会会議規則第60条に基づき質問者から議長に文書で通告のあった内容を基に、大項目のみ掲載しています。

6月定例会の議案と議決結果 (議決 7月3日)

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数、△賛成少数

市長提出議案

※丸数字は議案番号

① 平成19年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ28億2032万1千円の追加。当初予算と合わせた予算総額は、377億7232万1千円。歳出の主な内容は後期高齢者医療制度に伴うシステム改修など。歳出に対する財源として前年度繰越金、財政調整基金繰入金、市債等を計上。また、歳入歳出の補正に伴い、継続費、債務負担行為及び地方債を追加補正。	原案可決	○
② 平成19年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ1億2605万円の追加。歳出の主なものは、市街化調整区域の汚水管の整備に係る経費など。	原案可決	○
③ 平成19年度佐倉市介護保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ1585万4千円の追加。歳出の主なものは、後期高齢者医療制度の実施に向けた介護保険システムの改修費。	原案可決	○
④ 佐倉市手数料条例の一部を改正する条例制定について 租税特別措置法の改正、建築基準法の改正等に伴い、条例中の引用条項の整理などを行うもの。	原案可決	○
⑤ 佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について 新信託法施行の対応として、法人課税信託に係る賦課等の規定を整備するもの。	原案可決	○
⑥ 佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について 郵政民営化関連会社の固定資産に対する都市計画税課税標準の軽減について、条例中に引用する地方税法の条項を整理するもの。	原案可決	○
⑦ 佐倉市さくらんぼ園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について さくらんぼ園を平成20年度から指定管理者による管理とするための規定を整備するもの。	原案可決	○
⑧ 佐倉市心身障害者福祉作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について よもぎの園を平成20年度から指定管理者による管理とするための規定を整備するもの。	原案可決	○
⑨ 佐倉市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について 重度心身障害者の医療費自己負担額の助成について、対象者に所得制限を設けるとともに、入院時の食費代自己負担額を助成の対象から除外するもの。	原案可決	○
⑩ 佐倉市飯野台観光振興施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について 飯野台観光振興施設を平成20年度から指定管理者による管理とするための規定を整備するもの。	原案可決	○
⑪ 佐倉市道路線の変更について 宮ノ台3丁目地先の1路線の延長を短縮し、終点を変更。	原案可決	◎
⑫ 佐倉市道路線の認定について 井野地先及び宮ノ台3丁目地先の6路線を市道に認定するもの。	原案可決	◎
⑬ 佐倉市道路線の認定について 新白井田地先から白井田地先までの1路線を市道に認定するもの。	原案可決	◎
⑭ 佐倉市道路線の認定について 太田地先の1路線を市道に認定するもの。	原案可決	◎
⑮ 情報公開審査委員の委嘱について 近藤一夫(こんどうかずお)氏に再度委嘱するもの。	同意	○

請願・陳情

※丸数字は請願番号、白抜き数字は陳情番号

① 最低保障年金制度の実現を国へ要請する意見書採択を求める請願	継続審査	○
② 「核兵器廃絶の国際協定締結を求める意見書」採択についての請願	継続審査	○
③ 乳幼児医療費無料化制度の拡充・見直しについての請願	不採択	△
④ 「肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書」の採択を求める請願	採択	○
① 1 会派代表者会議及び全員協議会の傍聴を求める陳情	不採択	△
② 2 佐倉市議会に適正な情報公開を求める陳情	不採択	△
③ 3 議案に対する会派、議員の賛否公表を求める陳情	継続審査	◎
④ 4 市議会のインターネット中継を求める陳情	継続審査	◎

議員発議

※丸数字は発議案番号

① 肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書	原案可決	○
② 「年金加入記録」の徹底的な解明を求める意見書	原案可決	◎
③ 集団的自衛権の行使に関する意見書	否決	△
④ 異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書	原案可決	○

議会百景

改選後、初めての議会が開会、議会報編集委員6名が各会派から選出され、議長を顧問に会議が開かれた。紙面構成等基本的な点の合意を得た。議長として内容については情報公開原則を尊重しつつも、保護すべき公益、正確な情報伝達の技術的限界を考慮し、各委員の意見を取り纏め、中立公正な立場で議会活動を分かりやすくお知らせする様努めた。

(議会報編集委員会座長 檀谷正彦)

新人議員一年生！初体験の六月定例会では、関連質問をしましたが、時間が無く用意した原稿の1割しか発言できませんでした。しかし原稿作りを通して多くの事を学ぶ事ができ、また視察は、佐倉の様々な姿を発見でき、新鮮でした。日々成長しながら「誠実に！」をモットーに、「女性の視点で温かな市政に取り組み！」事を更に強く決意致しました。

(議会報編集委員 柏木恵子)

議会の構成

各常任委員会の構成が変わりました

◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会



文教福祉常任委員会



経済環境常任委員会



建設常任委員会



会派・各常任委員会等

議長 望月清義 副議長 櫻井道明 平成19年6月7日現在

委員会	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会報編集委員会
さくら会	平野裕子 小林右治 白井尚夫 木原義春	山口文明 檀谷正彦 中村孝治	櫻井道明 川名部実 桐生政広	押尾豊幸 望月清義 中村克児	小林右治 山口文明 押尾豊幸 檀谷正彦	檀谷正彦
公明党	神田徳光	岡村芳樹	小須田稔	柏木恵子 森野正	柏木恵子 岡村芳樹	柏木恵子
市民ネットワーク	工藤啓子	入江晶子	伊藤壽子	五十嵐智美	入江晶子	五十嵐智美
佐倉市民オンブズマン	藤崎良次	上ノ山博夫			藤崎良次	上ノ山博夫
新社会党			富塚忠雄	勝田治子	富塚忠雄	勝田治子
日本共産党	児玉正直	萩原陽子			児玉正直	萩原陽子
会派に属さない議員			村田稔史	中原英雄		

議席番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長

組合議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合	藤崎良次、檀谷正彦
印旛利根川水防事務組合	木原義春
佐倉市、酒々井町清掃組合	入江晶子、山口文明、押尾豊幸
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	森野正、小林右治
佐倉市八街市酒々井町消防組合	児玉正直、神田徳光、川名部実
千葉県後期高齢者医療広域連合	白井尚夫
印旛郡市広域市町村圏事務組合	望月清義
佐倉市監査委員	中村孝治
佐倉市農業委員	勝田治子、桐生政広

9月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆初日 9月3日(月) 午後1時から
 - ◆一般質問 9月10日(月)～13日(木) 午前10時から
 - ◆常任委員会 9月14日(金)、18日(火)～20日(木)
 - ◆決算委員会 9月21日(金)、25日(火)～27日(木)
 - ◆最終日 10月1日(月) 午後1時から
- ☆日程は変更になることもありますので、事前にお問い合わせください。
議会事務局 ☎484-6279

お茶の間でもご覧になれます

CABLENET296の5チャンネルでは、本会議の様を翌日に放送します。

【放送予定】

- ◆初日 9月4日(火) 午後5時30分から
 - ◆一般質問 9月11日(火)～14日(金) 午前5時30分から
 - ◆最終日 10月2日(火) 午後5時30分から
- ※番組の始めに各議員の放送時間帯をお知らせいたします。

議会報編集委員会



議会活動をお知らせします

平成19年度の編集委員が決まりました